

丹波の夢・未来を語る



いしかわ つよし
石川 毅

丹波青年会議所 52 代理事長

はやし ときひこ
林 時彦

丹波市長

丹波青年会議所が主催する人気のイベント「**SPLASH!! 丹波 !!**」が 5 回目の節目を迎えるのを機に、市のまちづくりの方針や、人口推移に対する見解などについて石川毅理事長と林時彦市長が対談しました。

「帰ってこいよ」施策に通じるイベントの企画

林市長（以下林） 私は「わが子に帰ってこいよ」と言えるまちをつくる」ことをスロガンに掲げ、施策を推進してきました。これは東京の大学に進学していた私に、両親から「帰って来てほしい」と言われたのを機にふるさとに戻り、家業を引き継いだ経験からきています。

きっかけは人それぞれですが、私の両親と同じように、わが子に「帰ってこいよ」と胸を張って言えるまちを作っていききたいですね。

石川理事長（以下石川） 丹波市は阪神間へのアクセスマルも良く、都会の高い利便性とのんびりした田舎暮らしを両立することができるまちです。また、豊かな山々に囲まれ、寒暖差が大きく、農業にも適しています。丹波市にはこうした誇れるところは多いです。

また、丹波という名前にはブランド力があり、私たちはもっとPRしたいと思っています。青年会議所

では市長の「帰ってこいよ」施策に通じる「おもろい丹波に帰丹プロジェクト」という企画を始めて、平成 29 年からはお盆の時期に水遊びのイベント「**SPLASH!! 丹波 !!**」を実施しています。5 回目の開催となる今年は通常のステージ企画に加え、初の試みとして、特設ステージを使った結婚式も行います。人が集まるこのロケーションを活用したいと思い、企画しました。

林 「**SPLASH!! 丹波 !!**」の企画などは、青年会議所ならではの若者らしい発想で良い企画だと思います。結婚式をするというアイデアも素晴らしい。知人が山頂で結婚式をしたが、これも斬新だった。こうしたロケーションを生かした試みがスプラッシュ丹波でも見ることができるとは楽しみ。

石川 青年会議所では、「**SPLASH!! 丹波 !!**」実行委員会以外にもまちの発展をめざして、質的価値創造委員会、丹波のファンズ

くり委員会の計 3 つの委員会を設置しています。質的価値創造委員会は、まだ注目されていない丹波市の強みを活かした価値を見出し、ビジネスの創造を検討しています。丹波のファンづくり委員会では、観光目線でまち自体をどのようにブランディングするか、丹波市の強みをどう見せるかを話し合っています。



「**SPLASH!! 丹波 !!2023**」の特設ステージで行われた結婚式

林 観光については現在、丹波の森づくりを進める中で交流があるオーストリアの「ウィーンの森」との関係を深めることや、大阪・関西万博の開催に併せた観光誘致などに力を入れていると考えています。

また、新規起業者を応援している BIZ ステージ

んたんばの相談窓口では、令和4年度の起業相談件数が382件ありました。起業件数は令和元年度の11件から令和4年度では28件となり、増加傾向にあります。このほかにも、今年度は「市民と企業が元気な丹波市」や「子育て世代・現役世代が魅力的に感じる丹波市」を目標に掲げた施策を推進しています。

移住者が増え続け、転入が転出を上回る

林 丹波市の魅力として美しい田舎の風景があります。通りがかった人に「こんなに」と気持ちの良いあいさつができる風土があるところは、ほかにはない魅力



です。顔を見れば誰の子どもか分かるくらい地域のつながりは強く、「地域の子どもは地域が育てる」というこのまちの風土は、本当に素晴らしいと思います。

石川 都会の人は、田舎の風景らしい古民家に新鮮さや魅力を感じられる人は多いですね。丹波市を訪れる観光客はそういった景色や感覚を味わいに来ている印象です。私は丹波市で生まれ育ち、高校卒業後に都会に出ていました。こちらに帰ってきた今は、近所にある山の魅力を再発見するなど、ふるさとの良さに気づくことは多いです。こういった視点は、市民よりも移住者の方が敏感ですね。

林 丹波市は移住者が増え続けていて、昨年度には転入が転出を上回る転入超過となりました。こうして移住者が増えているのはありがたいし、まちにも活気が出ます。今後は外国人にも移住者として来てほしいと思っています。



石川 都会で暮らす魅力も理解できますが、子育て世代になるとまちへのあこがれよりも生活へのあこがれが強くなります。例えば、田舎は都会よりも土地があり、大きな家を建てること

ができるという魅力があります。私の周りにはそういったところに魅力を感じて移住してきた人が多いです。少子高齢化に伴う人口減少は仕方ないと思いますが、まちの活気を絶やさないためにも引き続き移住者が増えるとうれしいですね。

田舎では玄関で野菜がとれる

林 田舎には、近所の人が育てた農作物をおすそ分けしてもらえるという魅力

もありますね。いつの間にか玄関に野菜が届けられているため、「田舎では玄関で野菜がとれる」と言われたりするほど。都会へ出て活躍している人はたくさんいるが、最終的には丹波市を選んでもらえるようなまちにしたい。家族を連れて丹波市に帰ってくる人が増えれば、人口はその分増加しますから。

石川 丹波市にやってくる移住者は、場所を選ばずに仕事ができるWEB関係を^{なりわい}生業にしている人が多いです。移住者を増やすためには、細かいニーズ調査をしたり、ターゲットを定めてPRをするのも良いと思います。

丹波市を盛り上げる存在として期待

林 青年会議所の皆さんは市内で事業をしたり働いて活躍している。私が進める「帰ってこいよと言えるまちづくり」政策において理想のような方々です。子育てや仕事で忙しい働き盛り

の世代ですが、これからの丹波市を背負っていくという気持ちで頑張ってください。一緒に丹波市を盛り上げる存在として今後も期待しています。

石川 まちづくりは市や県が主導となつて行ってくれています。青年会議所では青年ならではの英知と勇気と情熱を活かして、まちを良くしようと動いています。私たちの基本理念は、「明るい豊かな社会の創造」であり、社会により良い変化を与えるためのリーダーシップと成長の機会を与えるというもの。こうした理念のもと、まちを良くする取組を進め、まちを良くしていきたいですね。



盛り上がった「SPLASH!! 丹波 !! 2023」